

金融仲介機能発揮に向けた取組み状況について

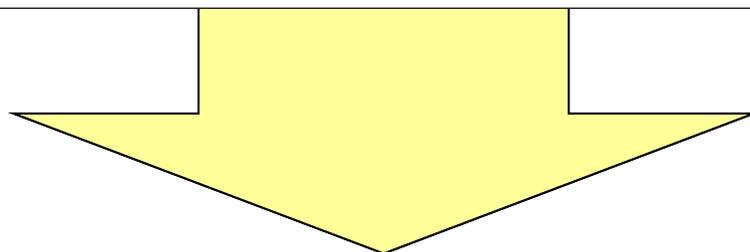
～「金融仲介機能のベンチマーク」について～

平成29年6月16日
株式会社北都銀行

基本的な考え方

地域へのコミットメント強化⇒地域の活性化・持続的成長の後押し

- 当行の経営理念『健全経営を進め 地域とともに 豊かな未来を創造します』
- 『事業性評価活動』と『地方創生北都プラン』二つの取組みを通じて、地域経済の持続的成長と地方創生に貢献



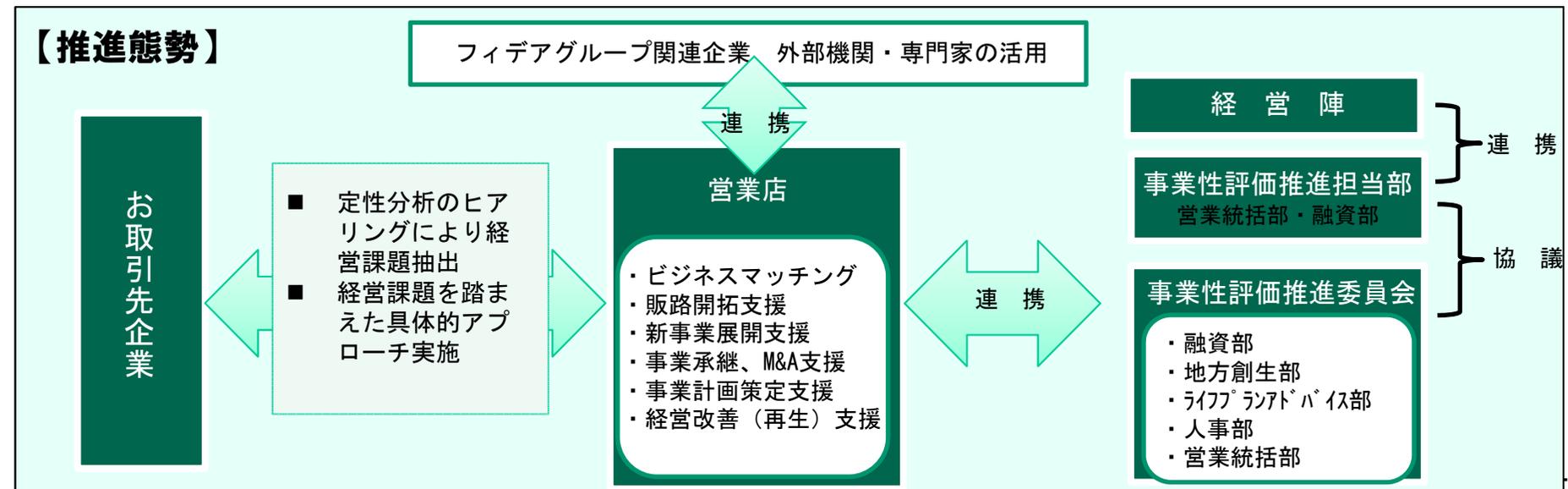
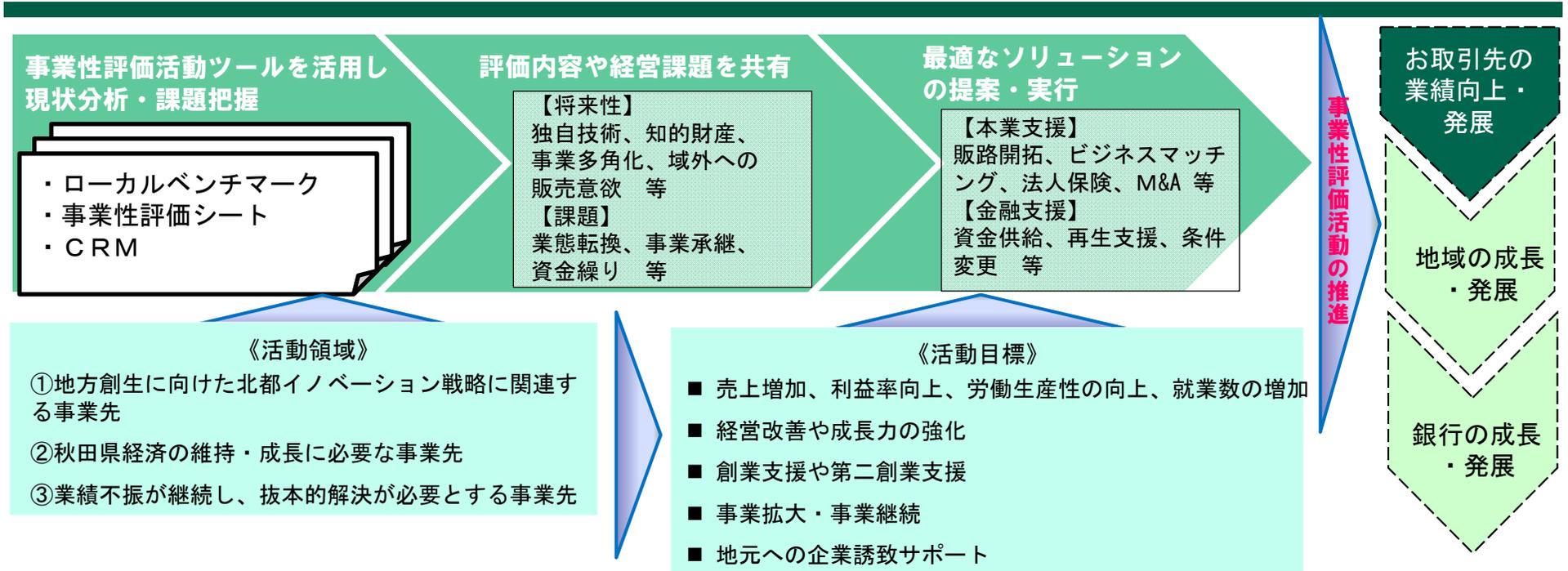
①事業性評価活動の推進

- お取引先企業の持続的成長と、更には地域経済活性化への取組みを一層深化させるために、「事業性評価活動」を推進
- 事業内容や成長可能性等を適切に把握、お取引先企業や地域産業の成長を支援
- 事業実態を把握する力や目利き力を強化し、経営課題の発見や、課題解決に向けた提案営業を実践できる人材育成を実施

②地方創生北都プランの実践

- 地域資源の活用や潜在的ニーズを掘り起こし、新しい産業や雇用を創出
- 秋田県の豊富な資源を活かした新しい価値創造を戦略とする『地方創生北都プラン』を平成27年2月に策定

①事業性評価活動の推進



②地方創生北都プラン(北都イノベーション戦略)

①自然エネルギーを軸とした新しい産業の創出

- ・ 風力発電を秋田の成長産業に育成
- ・ バイオマス発電、地熱発電の地域ビジネスモデルを構築

②中小企業の新しい価値創造

- ・ 経営革新、経営戦略をサポート
- ・ 医理工連携によってベンチャー企業を発掘・育成

③農林の高付加価値化（6次産業化）支援

- ・ 地域との連携による、付加価値の高い農業を育成
- ・ 販路開拓などの支援等によって農林水産所得の向上を目指す

④シニアが輝く地域づくり

- ・ カレッジタウン構想との連携を強化
- ・ 老人ホームやサ高住等の環境を整備

⑤女性の活躍フィールドの創出

- ・ 経営ノウハウを学ぶための女性経営大学の開校
- ・ 女性研究者、女性起業家を育成

⑥県外・海外からの移住促進

- ・ 中心市街地活性化による魅力あるまちづくり
- ・ 介護人材への外国人登用を検討

⑦グローバル戦略による秋田ブランド確立

- ・ 海外ビジネスにチャレンジする経営者を支援
- ・ アジアの輸出貿易拡大を調査

⑧観光資源を活用した地域づくり

- ・ 北都バンコク駐在員事務所、あきた食彩プロデュース台湾事務所を活用し、秋田を売り込む
- ・ 地銀連携、東北連携、日本海連携によって推進

※地方創生北都プランは、平成27年2月に公表しております。

金融仲介機能のベンチマーク

「金融仲介機能のベンチマーク」の公表

■ 事業性評価活動の推進、並びに地方創生北都プランの実践を自ら評価・検証するための指標として、平成28年9月に金融庁が策定しました「金融仲介機能のベンチマーク」の中から共通ベンチマーク5項目、選択ベンチマーク全50項目のうち当行が重点的に取り組んでいる活動に合致する5項目、そして当行のビジネスモデル・経営戦略に合致し客観的に評価・検証できる指標として、独自ベンチマーク3項目を選定し、その指標等を開示してまいります。

共通ベンチマーク（5項目）

- ①メイン取引先うちの経営指標（売上・営業利益率等）の改善や就業数の増加が見られた先数と融資額の推移【共通1】
- ②条件変更を行っている企業の経営改善計画推進状況【共通2】
- ③創業、第二創業に関与した件数【共通3】
- ④ライフステージ別の与信先数、及び融資額【共通4】
- ⑤事業性評価に基づいて融資を行っている先数及び融資額とその割合【共通5】

選択ベンチマーク（5項目）

- ①ソリューション提案先数・融資額等【選択14】
- ②創業支援先数【選択16】
- ③販路開拓支援を行った先数【選択18】
- ④M&A支援先数【選択19】
- ⑤事業承継支援先数【選択21】

独自ベンチマーク（3項目）

- ①当行が関与した秋田県内の再生可能エネルギー事業規模および融資実行額【独自1】
- ②秋田県内企業等の当行バンコク駐在員事務所活用件数【独自2】
- ③当行バンコク駐在員事務所が関与したタイ王国からのインバウンド誘客数【独自3】

※ベンチマーク項目における表現や番号、指標などにつきましては、金融庁から公表されているものを記載しております。また、各項目の定義は、当行の基準により作成しております。

独自の事業性評価ツールを活用した取組み

従来から、本業支援、再生支援、事業承継・M&A等、事業性評価活動を推進しておりましたが、「ローカルベンチマーク」と「事業性評価シート」の2つのツールを追加し、深度ある対話を通じてお取引先企業のニーズ・課題把握に努めております。

当行独自の取組み（ローカルベンチマークと事業性評価シートの活用）

1. ローカルベンチマーク（対話）

- ①事業フローに落とし込まれている社長のこだわりや理念の把握
- ②強みや独自性の把握とそれらを可能にしている仕組みの理解
- ③銀行が理解するだけの活動ではない、お取引先に気付きを促す

※ローカルベンチマーク
経済産業省HPで公開されている。金融機関や経営者が企業の状態を把握し、双方が同じ目線で対話を行うための基本的な枠組みであり、本業支援活動の入り口として活用することが期待されている。

2. 事業性評価シート（北都銀行独自）

- ①SWOT分析
- ②**将来**シナリオ策定・課題抽出
- ③営業店の対応方針決定
- ④提案内容の決定
- ⑤必要に応じ本部専門部署のサポート、外部機関の活用

◆ メイン取引先うちの経営指標（売上・営業利益率等）の改善や就業数の増加が見られた先数と融資額の推移【共通ベンチマーク1】

	28/3	29/3
メイン先	3,133社	3,123社
メイン先の融資残高	1,931億円	1,911億円
経営指標等が改善した先数	2,315社	2,375社

（単位：億円）

	27/3	28/3	29/3
経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移	1,527	1,588	1,566

※メイン先・・・事業年度末における与信先企業（グループ含む）への融資残高が最も多い先

※経営指標等・・・就業者数・売上・営業利益率・労働生産性

◆ 事業性評価に基づいて融資を行っている先数、及び融資額との割合【共通ベンチマーク5】

	28/3		29/3	
	先数	融資残高	先数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	110社	507億円	250社	799億円
上記計数の全与信先及び当該与信先の融資残高に占める割合	1.5%	13.9%	3.5%	22.0%

※当行が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数および融資額、全与信先数および融資額に占める割合

◆ ソリューション提案先数・融資額等【選択ベンチマーク14】

	28/3			29/3		
	全取引先数①	ソリューション提案先②	割合(②/①)	全取引先数①	ソリューション提案先②	割合(②/①)
ソリューション提案先数、及び、同先の全取引先数に占める割合	6,848社	955社	13.9%	6,659社	1,110社	16.7%
ソリューション提案先の融資残高、及び、同先融資残高の全取引先の融資残高に占める割合	3,646億円	854億円	23.4%	3,637億円	1,165社	32.0%

ライフステージにあわせたソリューション提供(1)

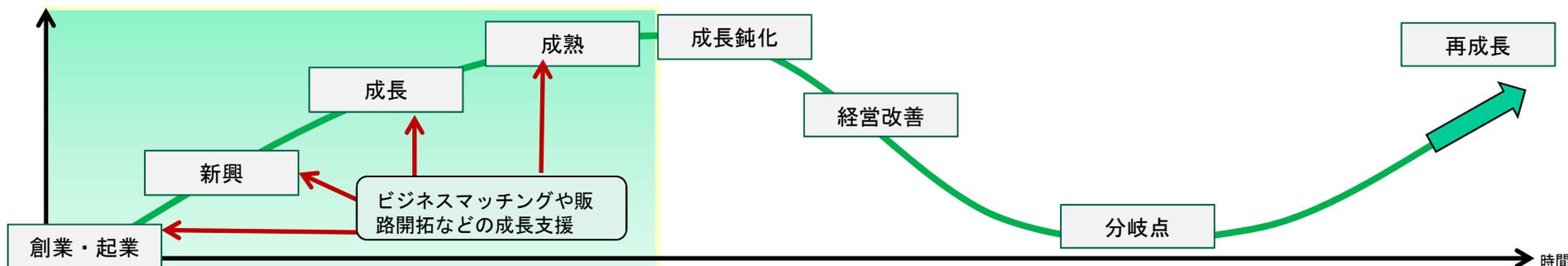
◆ ライフステージ別の与信先、及び融資額【共通ベンチマーク4】

	28/3					29/3						
	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	7,342社	621社	485社	5,362社	366社	508社	7,141社	631社	494社	5,082社	383社	551社
ライフステージ別の与信先数与信先に係る事業年度末の融資残高	3,647億円	378億円	309億円	2,509億円	80億円	371億円	3,637億円	433億円	540億円	2,200億円	100億円	365億円

【創業期】創業、第二創業から5年までの先
(お取引先単体ベース、以下同様)
【成長期】売上高平均で直近2期が過去5期の120%超
【安定期】売上高平均で直近2期が過去5期の120%~80%
【低迷期】売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満
【再生期】貸付条件の変更または延滞がある期間

お客さまが抱えるさまざまな課題の解決をサポートするため、企業のライフサイクルに応じた積極的なソリューションの提供に取り組んでおります。

お客さまの売上・利益等



◆ 創業、第二創業に関与した件数【共通ベンチマーク3】

(単位: 件)

	28/3	29/3
金融機関が関与した創業件数	211	170
金融機関が関与した第二創業件数	5	5

◆ 販路開拓支援を行った先【選択ベンチマーク18】

(単位: 社)

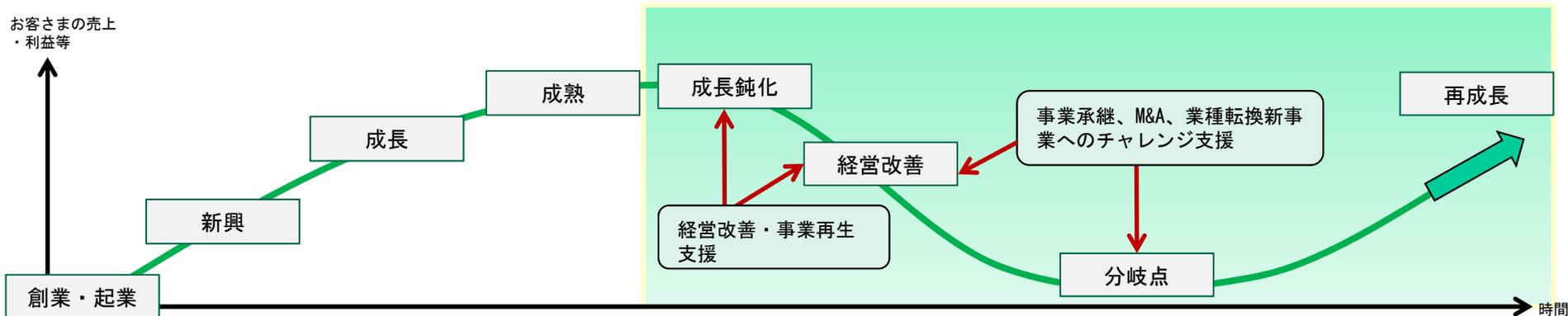
	28/3			29/3		
	地元	地元外	海外	地元	地元外	海外
販路開拓支援を行った先数	637	16	4	706	62	16

◆ 創業支援先数【選択ベンチマーク16】

(単位: 社)

	28/3					29/3				
	創業支援先数					創業支援先数				
	創業計画の策定支援	創業期の取引先への融資	政府系金融機関や創業支援機関の紹介	ベンチャー企業への助成金・融資・投資		創業計画の策定支援	創業期の取引先への融資	政府系金融機関や創業支援機関の紹介	ベンチャー企業への助成金・融資・投資	
創業支援先数	211	82	117	12	-	170	74	93	3	-

ライフステージにあわせたソリューション提供(2)



◆ 条件変更を行っている企業の経営改善計画推進状況【共通ベンチマーク2】

	28/3				29/3			
	条件変更総数	好調先	順調先	不調先	条件変更総数	好調先	順調先	不調先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	383社	86社	100社	197社	428社	103社	134社	191社

※売上または当期純利益が計画比で以下の先を定義しております。

【好調先】120%超、【順調先】80%~120%、【不調】80%未満（経営改善計画のない先は不調先を含めております）。

◆ M&A支援先数・事業承継支援先数【選択ベンチマーク19、21】

(単位:社)

	28/3	29/3
M&A支援先数・事業承継支援先数	111	184

- ✓ 事業譲渡や後継者問題の悩みを抱えるお取引先企業に対し、専門スタッフや外部専門家の知見を活用しながら、事業承継支援（自社株評価や株式承継等）やM&A支援を行っております。
- ✓ また、お客さま向けに勉強会やセミナーを随時開催しております。



【コンサルティング機能発揮に向けた人材(行員)育成への取り組み】

秋田県内の木材産業や医療法人、食品スーパーなどのお取引先企業へ行員を派遣しております。実際の現場を体感し、企業の理解を深めることで、事業環境や事業特性等、各種業種における強みや弱みを多面的に分析し、企業の課題やニーズに対し、適切なコンサルティング機能を発揮できるよう、人材育成に取り組んでおります。

地方創生に向けた取組み【事例】

再生可能エネルギーへの取り組み

【独自ベンチマーク1】 当行が関与した秋田県内の再生可能エネルギー事業規模および融資実行額

(単位: 億円)

	28/3	29/3
秋田県内の再生可能エネルギー事業規模	180	682
秋田県内における当行の再生可能エネルギー融資実行額	68	144

✓ 再生可能エネルギーの地場産業化に向けて、各種地域プロジェクトに主体的に取り組んでおります。

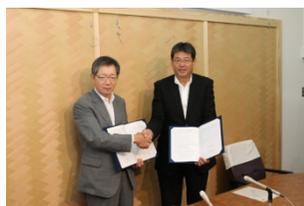
風力発電事業

【秋田県秋田市・潟上市における風力発電事業への取り組み】

- ✓ 潟上市から秋田市にかけての県有地を活用した風力発電事業
- ✓ 秋田潟上ウインドファーム合同会社（ウェンティ・ジャパン、三菱商事(株)、(株)シーテック）と連携。
- ✓ 3,000kw級風車22基 総出力65,990kw
- ✓ 総事業費191億円
- ✓ 総融資額155億円（プロジェクトファイナンス）
- ✓ 発電開始・平成32年（予定）

【(株)三井造船と再生可能エネルギーに関する基本協定を締結】

- ✓ 秋田県内における風力発電など再生可能エネルギーの事業を共同で検討することを目的に、平成28年8月に締結



木質バイオマス発電事業

- ✓ 地域の“森林”資源を活用した東北最大規模のプロジェクトが秋田市で始動（H27/4-）
- ✓ 総事業費125億円。最大出力2万kW（約4万世帯の年間電力消費量に相当）
- ✓ 発電所建設により、本体の運営、メンテナンス、燃料運搬等に100人以上の雇用効果
- ✓ 森林資源の健全な育成や保全にも効果

北都銀行が中心となり、地元金融機関も参加し事業支援



H28年発電所稼働

グローバルビジネスへの取組み（その1）

【独自ベンチマーク2】

（単位：件）

	29/3
県内企業等の当行海外事務所活用件数	63

✓ 当行海外駐在員事務所をはじめ、海外の金融機関や海外進出に向けたコンサルティング業務を手掛ける様々な国内企業と提携して多様な支援ツールを整備した結果、秋田県内企業の東南アジアへの事業投資や商材の輸出案件、及びそれに係る各種ご相談も増加しております。

タイバンコク駐在員事務所



- ✓ 平成26年7月北都バンコク駐在員事務所を設置。
- ✓ 現地スタッフ含む3名体制。
- ✓ 秋田県の東南アジア経済・観光交流デスク機能。
- ✓ 秋田大学バンコク事務所機能

秋田・タイ王国友好協会



- ✓ 平成26年11月に秋田・タイ王国友好協会を設立。
- ✓ 会員約180社・団体。特別顧問に秋田県知事とタイ駐日大使。
- ✓ 北都銀行が事務局

【図表1】 海外金融機関との提携状況

対象国・地域	提携金融機関
タイ王国	カシコン銀行
インドネシア共和国	バンクネガラインドネシア
インド	インドステイト銀行
ベトナム社会主義共和国	ベトコム銀行 バオベトホールディングス
フィリピン共和国	BDOユニバンク
マレーシア	マレーシア工業開発銀行
アメリカ合衆国	アメリカン・セイビングス・バンク
大韓民国	KEBハナ銀行
中華人民共和国	中國銀行（Bank of China）

【図表2】 国内機関等との提携状況

協定・協力分野	機関・企業名
海外リスクコンサルティング	東京海上日動火災保険株式会社
	独立行政法人日本貿易保険
	損害保険ジャパン日本興亜株式会社
海外との物流支援	日本通運株式会社仙台支店
海外進出の総合的なコンサルティング	株式会社プロネクサス

タイ王国との交流事業

- ✓ 平成22年にカシコン銀行と業務提携以降、経済・教育・スポーツ交流等、インバウンドへの積極的な活動を通じて、タイ王国と秋田県との交流人口の拡大に繋げております。

【独自ベンチマーク3】

（単位：人）

	29/3
当行バンコク駐在員事務所が関与した、タイ王国からのインバウンドの誘客数	305
【ご参考】タイ王国からの観光客総数（※）	1,600

※出典：観光庁訪日外国人統計データ

平成22年8月

平成23年～

平成26年7月

平成26年11月

タイ・カシコン銀行と業務協定

カシコン銀行へトレニー派遣開始

バンコク駐在員事務所設立

秋田・タイ王国友好協会設立

ビジネスマッチング

【主な事例】

- ✓ 秋田牛の輸出事業
- ✓ 秋田県の農産品の輸出事業
- ✓ 酒造メーカーの販路拡大支援
- ✓ 現地法人設立サポート 等

提携支援・団体設立支援

- H26/11 秋田・タイ王国友好協会設立
- H27/8 秋田大学・スラリイ工科大学提携
- H27/8 タイ秋田関連企業選ネットワーク設立
- H27/8 タイバドミントン協会・秋田県バドミントン協会・秋田県・美郷町 提携
- H27/10 バンコククリスチャンカレッジ・秋田県教育庁提携
- H28/8 ワチラウット王立学校・秋田県教育庁提携
- H28/8 ワッター私立学校・秋田県教育庁提携

観光インバウンド 各自治体と協力して観光PR事業等を展開

- ✓ 秋田県のタイ王国向け観光PVの制作協力。
- ✓ タイの大手旅行代理店との連携
- ✓ バドミントンを通じたインバウンド活動（東京五輪事前合宿誘致活動）



秋田牛の輸出契約を締結



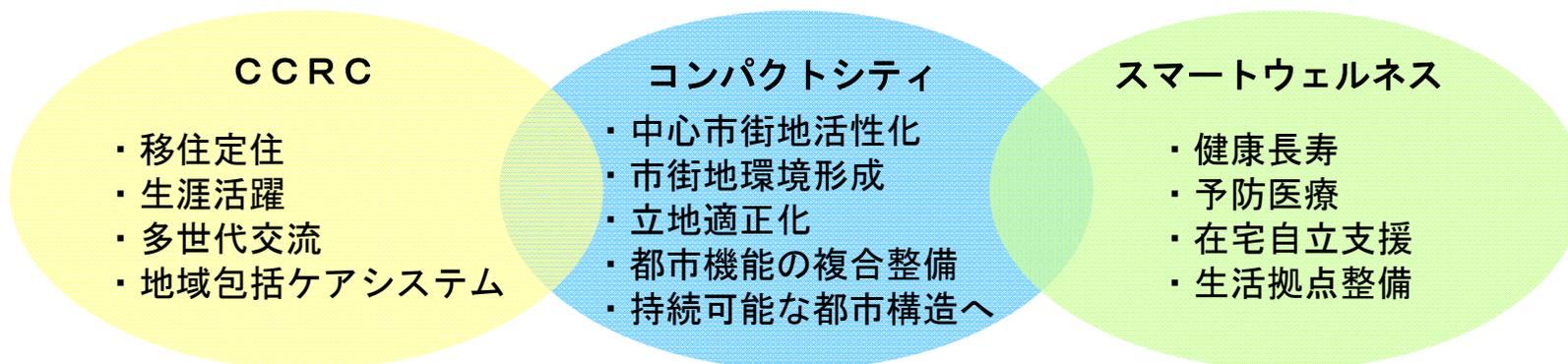
タイバドミントン協会、秋田県、美郷町、秋田県バドミントン協会



タイバドミントン協会と
当行バドミントン部との交流

秋田市中通CCRC拠点整備事業 (秋田不動産サービス・北都銀行・関連企業や団体)

■ 事業の3つのコンセプト



■ 目的：「市街地の活性化」「地域住民の健康増進」「上質な住まいの提供」

■ 効果：「誰もが健康で安心して暮らすことができる環境（ハード&ソフト）整備」



※ 計画地

※CCRC＝「Continuing Care Retirement Community」の略。仕事をリタイアした方が第二の人生を健康的に楽しむ街として米国から生まれた概念。

秋田市CCRC拠点整備事業



分譲住宅

賃貸住宅

商業スペース
(クリニック、調剤
薬局、カフェ、北都
銀行、信用金庫)

地域交流スペース

■ 入居者・利用者のメリット

1. 金融機関のコーディネートによるサービス提供（金融、医療介護、移住交流 etc.）
2. 計画建物を拠点とした様々な地域活動
3. 入居クリニックと周辺医療機関が連携しての健康・予防・介護サービス
4. 「街なか居住」

■ 概要、スケジュール

規模：地上18階

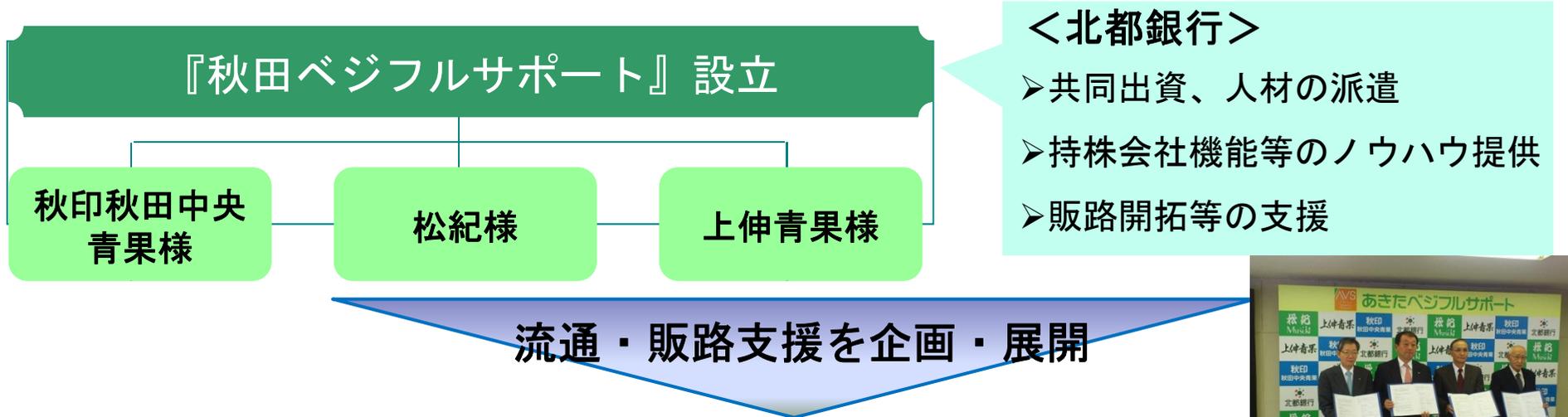
構造：鉄筋コンクリート造

建築面積：約 750㎡

延床面積：約8,100㎡

平成30年着工、平成32年竣工を予定

(現時点での計画内容であり、行政協議等により変更される可能性があります。)



①秋田県内のスーパーで、業界初の「ワケあり限定特別販売会」開催



②タイ・バンコク駐在員事務所の仲介により、県産青果物を輸出



北都銀行×アグリホールディングス連携 「秋田県農業生産法人等への人材供給及び秋田県産食材の海外展開・海外PR」スキーム

- ✓ 海外展開を目指す県内農業生産法人へのサポート
- ✓ 生産現場への人材供給、生産体制の構築
- ✓ 秋田米及び秋田県食材に関する海外プロモーション



連携



情報ネットワークの提供

県内農産品の輸出サポート、
秋田県の農業活性化

融資・ファンド活用
の案件の検討

県内農家
農業法人



食関連事業社

観光事業社



起業家誘致移住戦略

MAKOTO、ハバタと業務提携

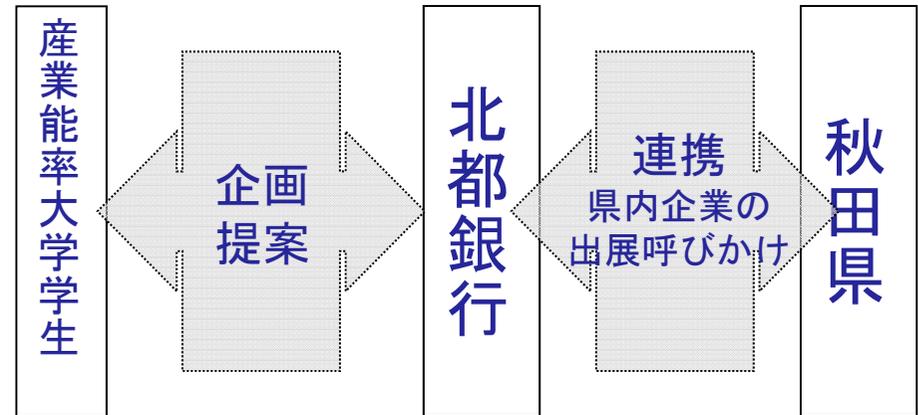
当行、創業サポート資金をはじめ、ハンズオン支援

《事例》秋田ことづくり様（横手市）

- ✓ 県外在住者などを対象にした、起業コンテスト（ドチャベン）において、矢野氏のビジネスプランが最優秀賞を受賞
- ✓ 県産の果物と地酒を詰め合わせた商品「Fruitreat（フルトリート）」のインターネット販売を開始

更なる販路開拓へ

《自由が丘女神まつり（東京）》 ～秋田フェア出展～



秋田ことづくり様を含む県内企業7社が出展

クラウドファンディングを活用した資金調達サポート

①ミュージックセキュリティーズ【投資型】

- 平成25年11月業務提携
- マイクロ投資ファンド組成サポート
- 地域性を活かした事業・商品へ、インターネットを介した資金調達



11号案件「秋田 御献上チーズケーキファンド」

②READY FOR【購入型】

- 平成27年10月業務提携
- 地域活性化や公共性に資するプロジェクト等が採用されている



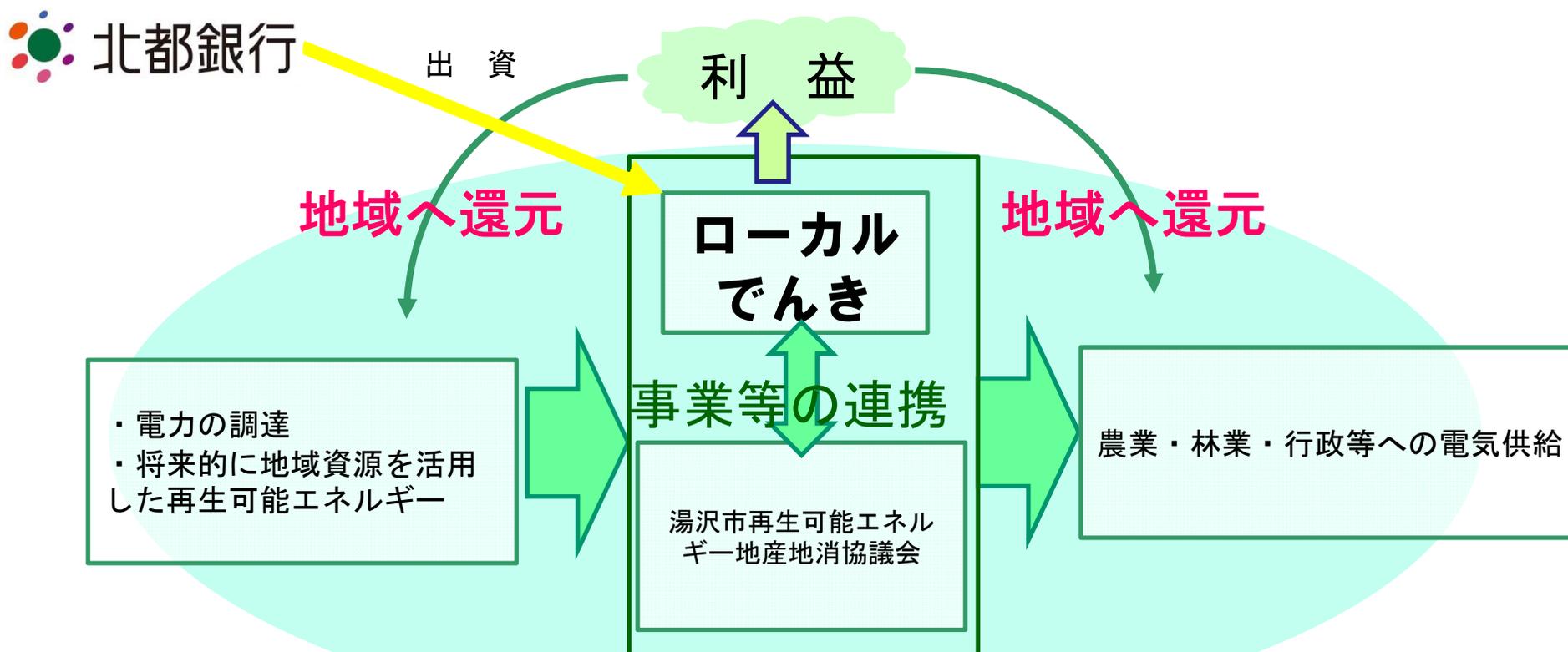
秋田市の「旧料亭割烹松下」のリノベーション事業へ本ファンドを活用

“北都成長応援ファンド 投資事業組合”

(平成28年10月3日～)

- 業種や創業時期を問わず、資本の充実を進める企業をサポート
- ベンチャー企業や独自の技術、事業承継等、多様なニーズに対応

第1号案件：ローカルでんき様【収益を地域に還元するビジネスモデルを展望】



県内企業・自治体等とタイアップによる 地方創生としての女性活躍推進

①女性経営者ビジネススクール

- 秋田県内の経営者等、女性リーダーの育成



②自治体との連携（地方創生連携協定）

- 子育て環境向上のためのワークライフバランス実現に向けて連携



③文化的建造物のリノベーション事業サポート

- 「あきた舞妓」を復活させた若手女性経営者
- 活動拠点として、文化的建造物を活用



④「RiSE～女性活躍企業応援融資」

- 日本政策金融公庫との連携により、女性経営者や女性起業家の活躍を後押しをすることを目的とした融資商品（平成28年2月より）

※ベンチマーク項目における表現や指標などにつきましては、金融庁から公表されているものを記載しておりますので、ご了承ください。



北都銀行

 **A MEMBER of FIDEA GROUP**

【資料に関する問い合わせ先】

経営企画部広報室（担当：市田）
TEL:018-833-4211